

第 357 回研究報告会「出張報告：カトマンズ」（5月 29 日）
堀内 みどり

4月2日から4日にかけて開催された南・東南アジアの文化・宗教研究学会（SSEASR）の第9回国際会議がカトマンズで開催された。テーマは「聖・象徴・社会：南アジア及び東南アジアにおける実践」、トリブバン大学歴史・文化及び考古学部とネパール観光・ホテル経営アカデミーの共催で開催された。堀内は、「Ecotourism and Religion: Reconstructing Religious Views of the Environment」と題して「Environment, Ecology, and Religion」のパネルで発表した。

また、大会前日に行われた大会主催の市内ツアーに参加、クマリ（ネパールの生き神、処女神）に見えることができた。大会終了後は、アミーラ・ダリさん（東大教会所属）より地震以降のカトマンズの復興の様子などを伺い、上村義治ネパール連絡所長には、先ごろ引越して別棟の参拝場ができた連絡所での活動をお聞きした。なお、アミーラさんは、今春の受勲で、日本・ネパール間の友好親善及び相互理解の促進に寄与したことによって瑞宝双光章を受章された。

研究報告会では、ホテル（タメル地区）近辺の様子について写真を提示しながら報告し、また「クマリ」について述べた。コロナ禍前年に「天理大学国際参加プロジェクト」に参加して訪れた時に比べ、復興の程度が進んでいることが実感できた。ただ、世界遺産になっているダルバール広場ではまだ足場が組み立てられ修復途中のものが見られた。観光客は確実に戻ってきており、多くのトレッキング客や登山に行く外国人が多く見られた。

大会の発表ではカトマンズにおける森林破壊の状況や森林を育てつつ山の暮らしに貢献すべく活動しているアミーラさんの NGO の活動を紹介し、その上で、本来エコツーリズムが持っている理念を経済に生かすには、聖地巡礼を取り込むことが有効であることを先行研究に依拠して述べた。



コンファレンスを終えて

2023 年度公開教学講座 のご案内

— 信仰に生きる『逸話篇』に学ぶ（9） —

2023 年度の公開教学講座は、以下の日程で
オンライン配信いたします。

- 第 1 回 6 月 井上昭洋所長
167 話「人救けたら」
- 第 2 回 7 月 尾上貴行研究員
168 話「船遊び」
- 第 3 回 9 月 金子昭研究員
122 話「理さえあるならば」
- 第 4 回 10 月 澤井治郎研究員
146 話「御苦労さん」
- 第 5 回 11 月 島田勝巳研究員
165 話「高う買うて」
- 第 6 回 1 月 堀内みどり主任
113 話「子守歌」

2022 年度「教学と現代」

3月25日に開催された2022年度「教学と現代」「元の理」を描く—生命・ジェンダー・芸術—
をオンラインで配信しています。

研究所ホームページよりご視聴ください。

グローバル天理
第 24 巻 第 8 号（通巻 284 号）

2023 年（令和 5 年）8 月 1 日発行

© Oyasato Institute for the Study of Religion
Tenri University

発行者 井上昭洋
編集発行 天理大学 おやさと研究所
〒 632-8510 奈良県天理市杣之内町 1050

TEL 0743-63-9080

FAX 0743-63-7255

URL <https://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/index.html>

E-mail oyaken@sta.tenri-u.ac.jp

印刷 天理時報社

Printed in Japan